

発行日H.24.12.21(金)

宜野座村教育委員会通信

12月号

やまびこ



発行者 宜野座村教育委員会 学校教育課 黛 智久

## 平成23・24年度 文部科学省指定 宜野座中学校「道徳教育実践研究報告会」(最終年次)



12/14(金)は、宜野座中学校の文部科学省指定「道徳教育」の研究報告会でした。宜野座中が2年間をかけ「心豊かに主体的に学ぶ生徒の育成 自立的判断を重視した道徳授業の充実を目指して」をテーマに研究を進めてきました。

今日、テレビや新聞には「いじめ」による悲しい事件の報道が多く見られます。私たちは、いつでもこの学校でも起こりうる事件と捉え、子供た

ちの成長に寄り添っていかねばなりません。

宜野座中では、生徒の自律的な判断を育てる道徳の授業、道徳の授業を充実させるための実践的な研究を通して、生徒の「思いやりの心を育む」「他者への共感を育む」心の教育に取り組みました。

先生方は、道徳の資料を吟味し、心をゆさぶる発問を工夫し、生徒は、一人一人が自分のこととして捉え、「どうしたらよいか？」真剣に仲間と話し合いを深めました。

生徒の授業感想には、「自分の祖父母や親、兄弟だったら・・・。」と考え、書き綴っている内容や、アンケートでは「社会に出たら自分の意見や判断・主張することがあり、自分のためになる。」等の感想が寄せられていました。本研究を通して、宜野座中の生徒には、自主自立

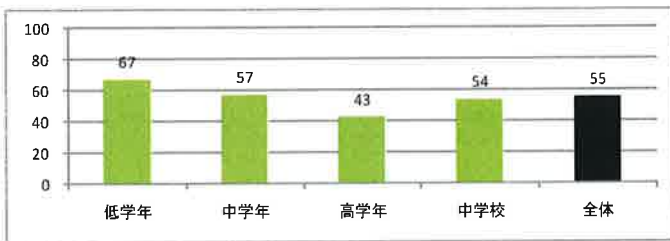


は、自主自立の精神や、公共物を尊ぶ心が、根付いてきていると感じました。

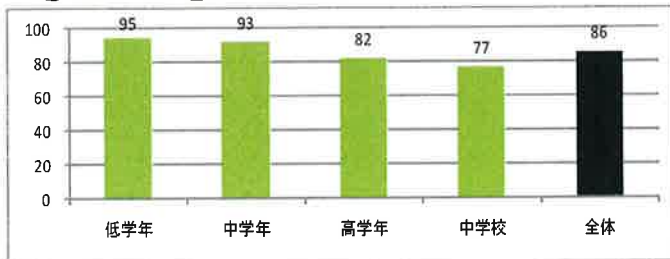
# 村内児童生徒の「学校と家庭の生活調査」アンケート結果【抜粋】

村学推委員会家庭教育部会では、本村児童生徒の学習や生活状況等について調査し、望ましい生活習慣等の確立に向け、基礎的な資料として活用することを目的として、11/26(月)から30(金)の期間でアンケート調査を実施しました。調査対象者は村内小学生390名・中学生183名の計573名です。【数値は、%です。】

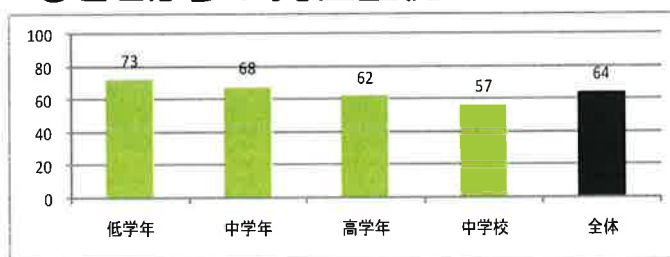
1 午前6:30までに起床している、起床していることが多い児童生徒。



2 毎日家庭学習をしている、していることが多い児童生徒。



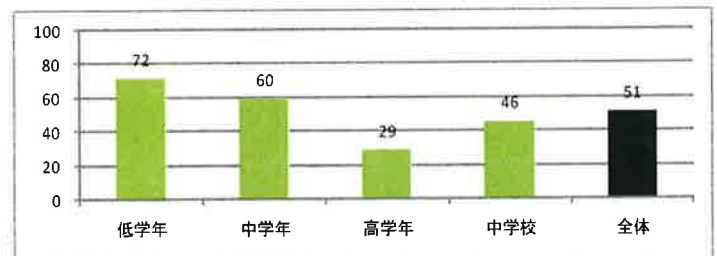
3 家の手伝いを毎日している、していることが多い児童生徒。



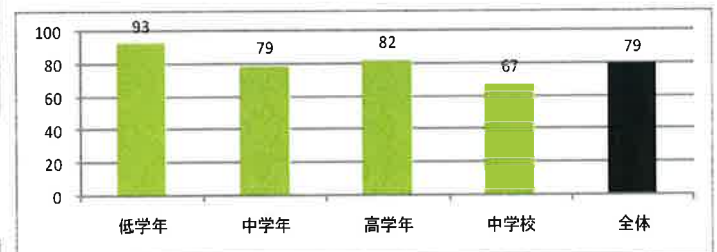
## 【考察】

家庭学習に関しては、児童生徒の意識は高いが、保護者のかかわりが低いように感じられます。特に小学校では、右肩下がりの現状があり、学校と家庭の協力体制の再確認が必要ではないでしょうか。また、午前6:30の起床や児童生徒の将来の夢や目標に関しても、右肩下がりの傾向が見られます。子供たちの健やかな成長を目指して、「生活リズム」「家の手伝い」「家庭での将来の夢や目標」等についても、家庭・学校・地域行政で連携した取組が必要であると考えます。

4 家族が家庭学習・がんばりノートを毎日見てくれる、見てくれることが多い児童。家族が家庭学習への励ましの声かけを毎日してくれる、してくれることが多い生徒。



5 きまった将来の夢・目標がある、色々と夢・目標ある児童生徒。



6 将来の夢・目標について家族とよく話をする。時々話をする児童生徒。

